



鏡野中学校卒業式

旅立ちの春 121名が卒業それぞれの道へ

3月11日(日) 鏡野中学校で卒業式が行われ、121名が卒業証書を受け取りました。

現在の鏡野中学校は、卒業生たちが2年生のとき(平成28年4月)に鏡野・奥津・富・上齋原中学校の統合を経て新しい鏡野中学校としてスタートし、今回で2回目の卒業式となりました。

学校長式辞では、三村公一校長から卒業生へ向けて「自他を大切にすること、感謝する心を持ち続けることを大事にし、それぞれの道を歩んでください」とはなむけの言葉が贈られました。

卒業生の片山希海さんは答辞で、先生や後輩、保護者や地域の方へ感謝の気持ちを伝え「鏡野中学校で学んだことを忘れずにこれからも歩んでいきます」と誓いました。

式後の中学校講堂前では、卒業生たちがお世話になった先生と一緒に学んだ友達と記念撮影をするなど、卒業の喜びを分かち合っていました。

卒業生に4月からの高校生活について尋ねると「新しい人の出会いが楽しみです。高校生になっても部活・勉強を頑張りたい」と話していました。

